

# 演題動画作成マニュアル

PowerPoint 2013

PowerPoint 2010

ナレーション動画（音声付きスライド）  
の作成は以下の手順です。

記録

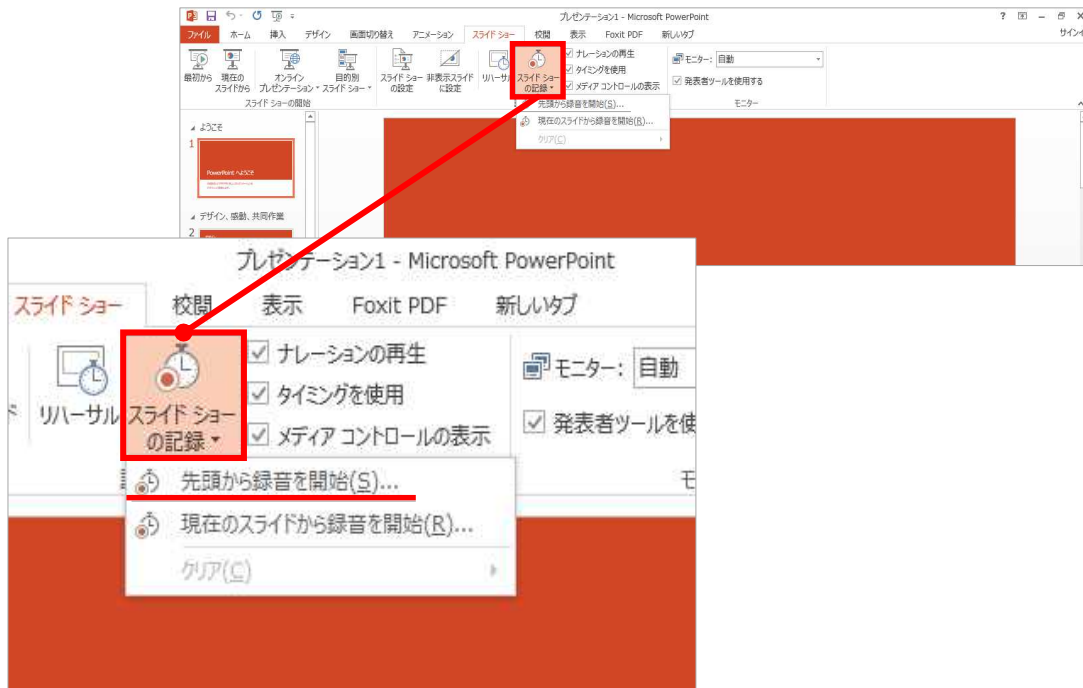


保存



変換  
(書き出し)

## 記録（開始①）

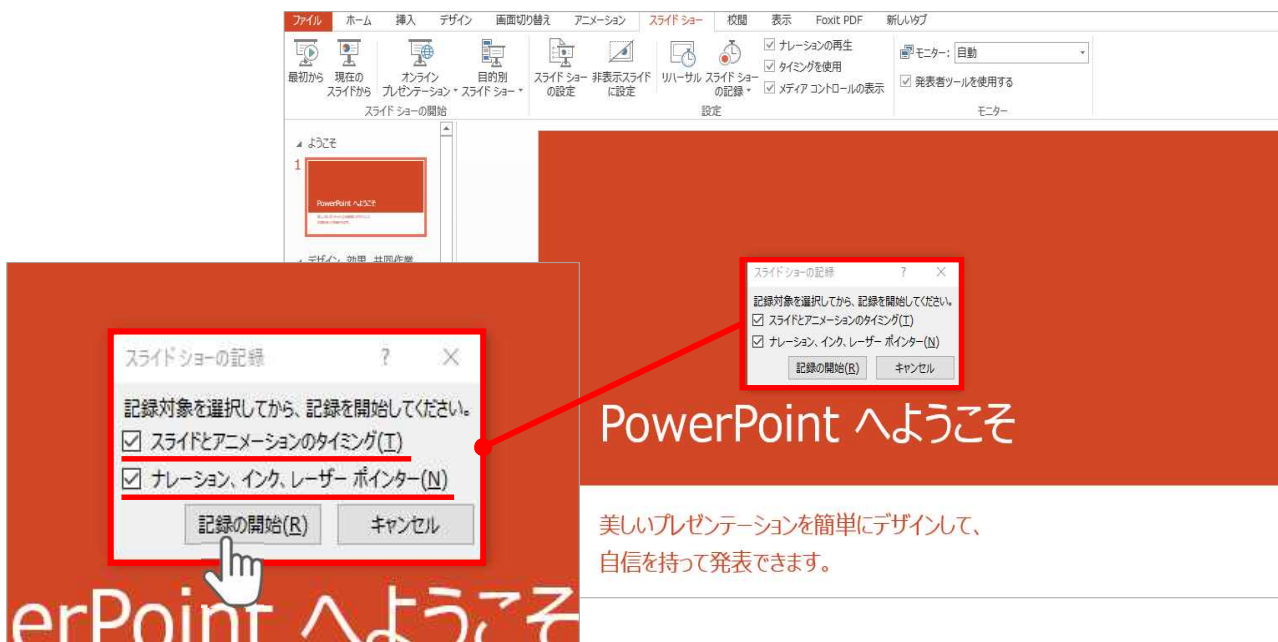


- ① リボンの【スライドショー】 → 【スライドショーの記録】 をクリック
- ② 【先頭から記録】 を選択したら**記録画面**に進んでください。



【先頭から録画】 をクリックすると、録画スタンバイになります。

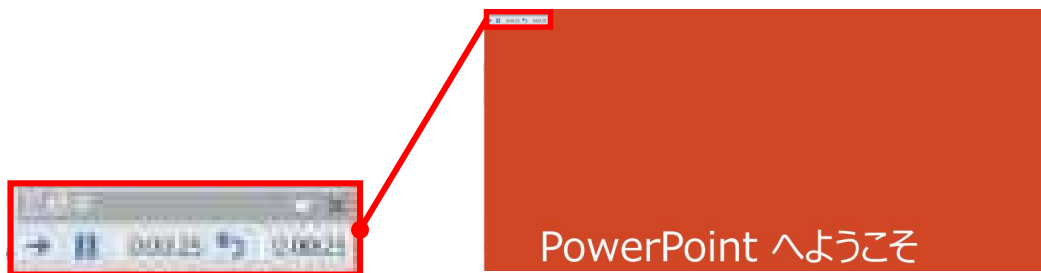
## 記録（開始②）



【スライドショーとアニメーションのタイミング】

【ナレーションとレーザーポインター】

にチェックが入っていることを確認し、【記録の開始】をクリックしてください。



録音中は、スライド左上に【記録中】と表記されます。  
記録中となっている事を確認してください。



マウスカーソルは、記録されません。【Ctrl+L】を押して  
【レーザーポインターモード】をご使用ください。

レーザーポインターではスライド送り、動画のクリックはできません。

# 保存



PowerPointファイルを保存してください。

ファイル名は【**演題番号\_演者名**】としてください。

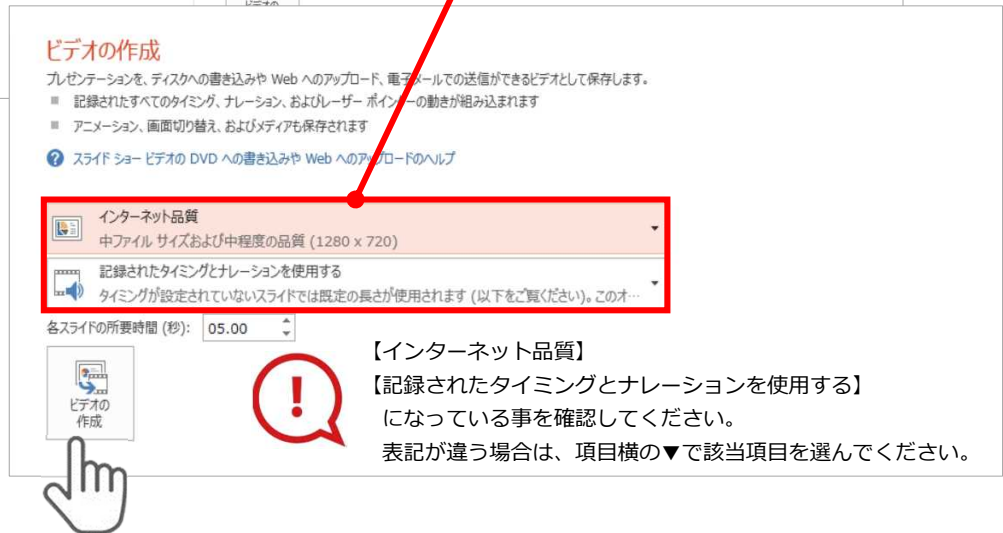


保存したファイル（音声付きスライド）は**スライドショー**にて、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。

## PowerPoint 2013での変換



ファイルメニューの【ファイル】 → 【エクスポート】を選択、



【エクスポート】 → 【ビデオの作成】を選択してください。

❗ のビデオ設定を確認。

確認後、左下にある【ビデオの作成】ボタンをクリックしてください。

## PowerPoint 2010での変換

このプレゼンテーションから完全な再現性が維持されたビデオを作成し、CD や Web、または電子メールを使用して配布することができます。

- 記録されたすべてのタイミング、ナレーション、およびレーザー ポインターの動きが組み込まれます
- スライドショーで非表示に設定されていないすべてのスライドが含まれます
- アニメーション、画面切り替え、およびメディアも保存されます

ビデオの作成にかかる時間は、プレゼンテーションの長さや複雑さによって異なります。ビデオの作成中も、PowerPoint での作業を続けることができます。

スライドショー ビデオの DVD への書き込みおよび Web へアップロードのためのヘルプ

コンピュータおよび HD モニター  
コンピュータのモニター、プロジェクター、またはハイビジョン表示用 (大 - 960 x 720)

記録されたタイミングとナレーションを使用する  
タイミングが設定されていないスライドでは、以下の既定の時間設定が使用されます。記録されたレーザー ポ...

各スライドの所要時間 (秒): 05.00

ビデオの作成

【コンピュータおよび HD モニター】  
【記録されたタイミングとナレーションを使用する】  
になっている事を確認してください。  
表記が違う場合は、項目横の▼で該当項目を選んでください。

ファイルメニューの【ファイル】 → 【保存を送信】を選択、  
【エクスポート】 → 【ビデオの作成】を選択してください。

❗ のビデオ設定を確認。

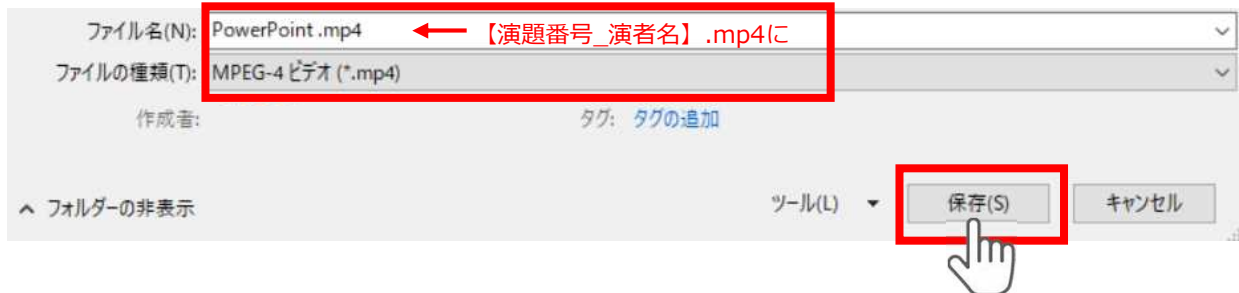
確認後、左下にある【ビデオの作成】ボタンをクリックしてください。

## 変換（書き出し②）

動画ファイルを任意の場所に保存します。

【ファイル名】は【演題番号\_演者名】としてください。

### PowerPoint 2013



ファイルの種類を**MPEG-4 ビデオ**にして保存してください。  
拡張子が【.mp4】になっていることをご確認ください。

### PowerPoint 2010



ファイルの種類を**Windows Mediaビデオ**にして保存してください。  
拡張子が【.wmv】になっていることをご確認ください。



【保存】をクリックするとPowerPointのウィンドウ下部に作成中のバーが現れますので終了するまでお待ち下さい。



動画登録アップロード時の上限サイズが**1GB**ですので

ファイルサイズは**1GB**以下にしてください。

完成した動画は、音声やスライドのタイミングが問題ないか、再生ができるか等 必ずご確認ください。